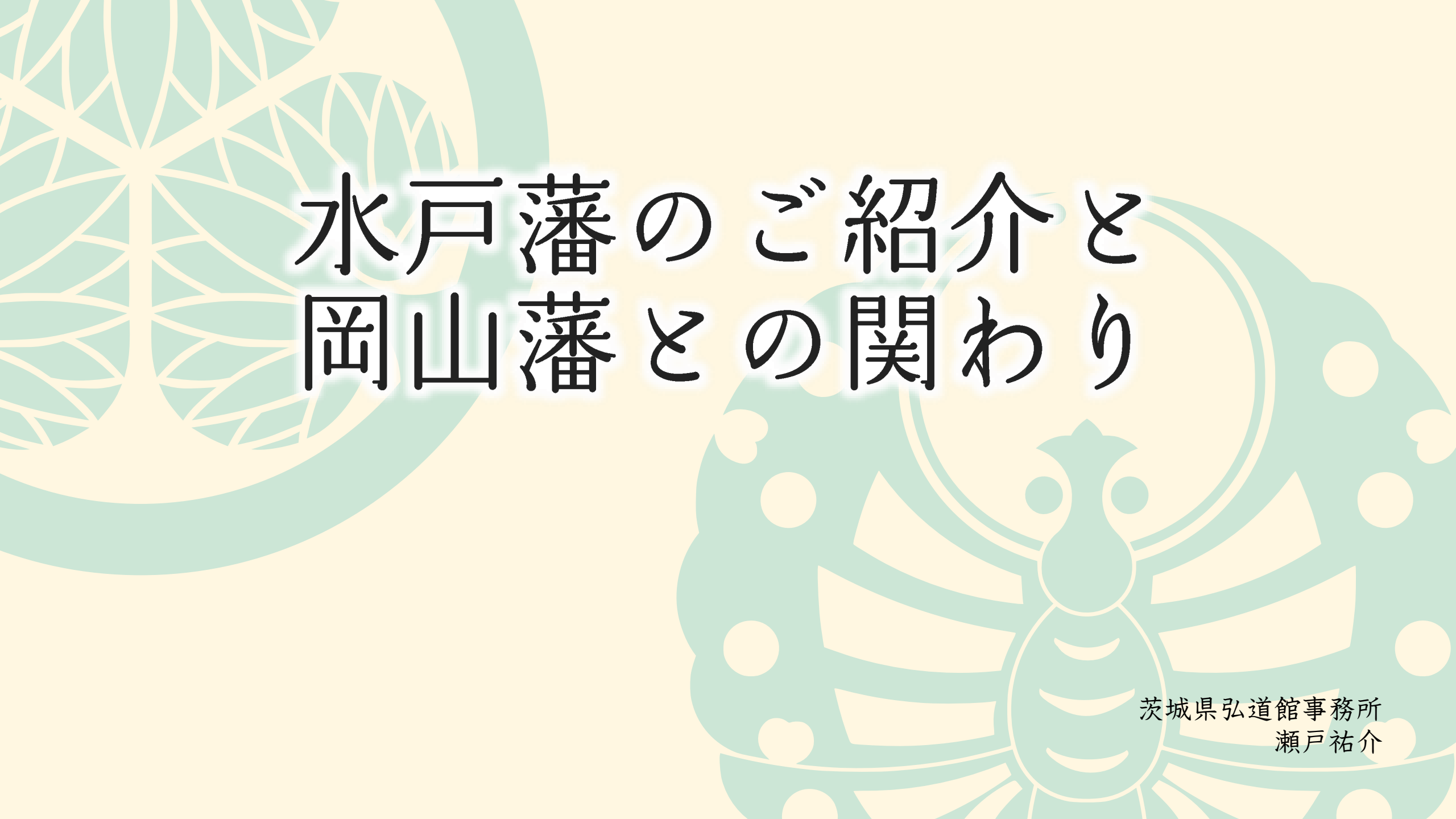




水戸藩のご紹介と 岡山藩との関わり

茨城県弘道館事務所
瀬戸祐介

自己紹介

- 茨城県水戸土木事務所偕楽園公園課弘道館事務所
- 弘道館コーディネーター
- 弘道館・偕楽園の研究・資料整理・案内
- 創設者徳川齊昭と幕末水戸藩に関わる研究・案内
 - 水戸徳川家・水戸藩士に関わるリサーチ
 - 水戸城に関わるリサーチ



今日の内容

- 水戸藩
- 義公烈公—二人の名君と「水戸学」
- 岡山藩との関係
- 今後の課題

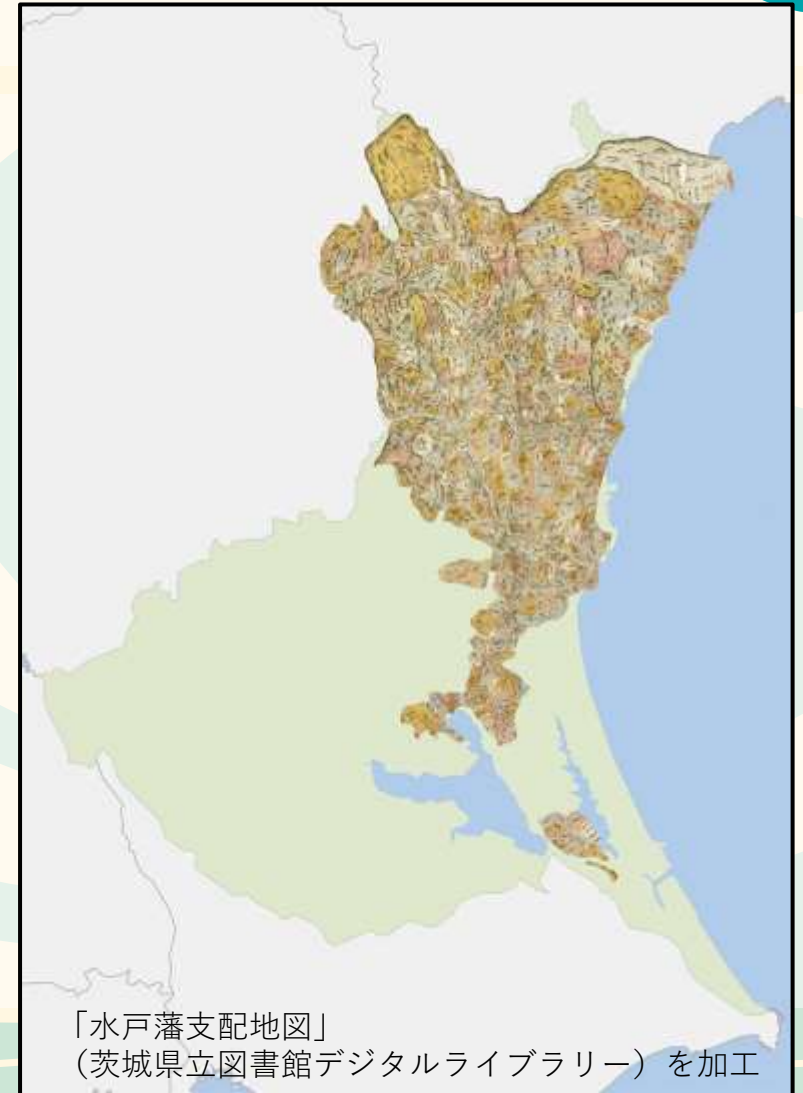
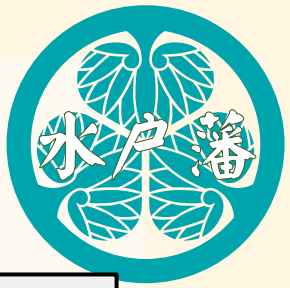


水戸藩

- 常陸国北部～霞ヶ浦水運を管轄
- 石高35万石
- 御三家水戸徳川家



江戸時代の大名領地mapより



「水戸藩支配地図」
(茨城県立図書館デジタルライブラリー) を加工



初代藩主徳川頼房

- 「水戸中納言」
徳川家康11男
 - 義直(9男)→尾張大納言
 - 頼宣(10男)→水戸→紀伊大納言
- 家康晩年の子供たち→溺愛



「徳川頼房の肖像」
([Wikipedia](#)) を加工



佐竹家の秋田移封

- 佐竹義宣
 - 豊臣政権下で存在感
 - 関ヶ原の戦いで消極的対応
- 水戸54万石→秋田20万石へ
- 武田信吉(15万石)→徳川頼宣(25万石)
→徳川頼房(28万石):家康子息が水戸継承

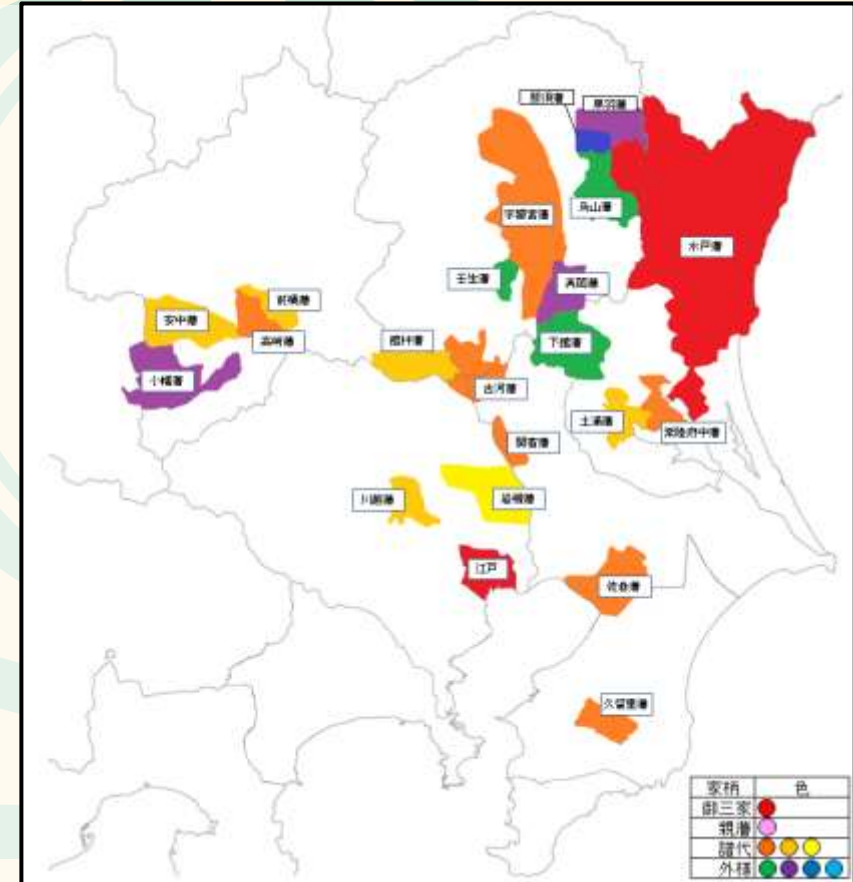


「佐竹義宣」 ([Wikipedia](#))



水戸の位置

- 東北の押え
 - 仙台伊達
 - 米沢上杉
 - その他東北大名への牽制
- 江戸の防衛ライン
 - 関東最大の石高
 - 裏切られると致命的になりかねない
 - 信頼出来る家柄＝御三家
- 太平洋水運の結節点
 - 太平洋から霞ヶ浦へ



江戸時代の大名領地mapより

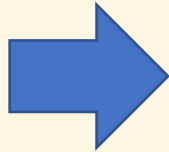


水戸城

- 28万石の大城下町
- 5層の堀の惣構
- 御三階櫓：古河城と並ぶ関東最大級の”天守閣”
- 内部5層外観3階建て



水戸城



岡山城



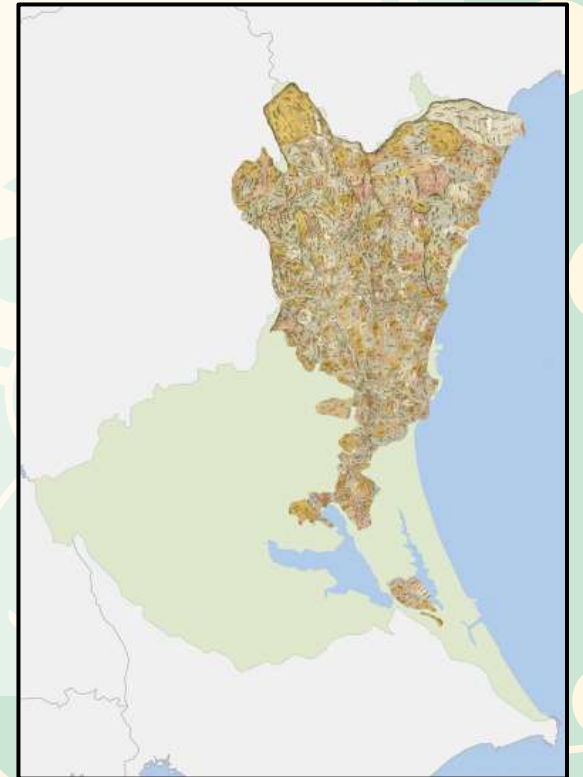
苦しい水戸藩

- 大きくなれない
公称35万石：本来は28万石→「格」のために高直し→出費増加
新田開発の限界：江戸期を通じて実高30万石程度
- 「江戸定府」
 - 「天下の副将軍」=あくまでも補佐。将軍にはなれない
 - 藩政の2重化→財政負担の増大
 - 推定4000人の家臣が江戸水戸半々で居住
 1. 上屋敷：小石川→小石川後樂園・東京ドーム
 2. 中屋敷：本郷→東大本郷キャンパス
 3. 下屋敷：小梅→隅田公園
- 「格は高いが貧しい。由緒正しいが御三家では格下」



苦しい水戸藩

- 常陸国＝「ひたみちのくに」道の果てが常陸
- その先がみちのく(陸奥)＝伝統的に東北侵略・防衛の最前線
- 長い海岸線→(幕末)外国船の進出とそれへの対応



「水戸藩支配地図」

(茨城県立図書館デジタルライブラリー) を加工

義公烈公 二人の名君と「水戸学」



- 義公=2代光圀=大日本史を編纂。「水戸黄門」
- 烈公=9代斉昭=弘道館・偕楽園を開設。「攘夷の巨魁」
- 二人の名君:「水戸学」のピーク
=「前期水戸学」「後期水戸学」





前期水戸学と大日本史

- 前期水戸学

光圀による大日本史編纂を中心に発展した学問姿勢と思想。

- 大日本史

- 南北朝期までの日本の通史を記述
- 記述の元となる元資料の収集、出版
- 大義名分論「正統はどこにあるか？」
 - 南朝を正統
 - 楠木正成の顕彰

- 全国から学者を招聘：朱舜水—安積澹泊の学統



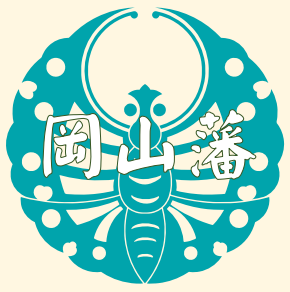
後期水戸学と尊王攘夷

- 後期水戸学
齊昭をシンボルとする神道・天皇を軸にした国家観。尊王思想
- 新論(会沢正志斎)
 - 英国兵の大津浜上陸を機に書かれた对外政策論
 - 天皇の元での国家統一。国力増強等(攘夷)
- 弘道館記碑(藤田東湖)
 - 弘道館開館の趣旨と教育による人材育成
 - はじめて「尊王攘夷」尊王＋攘夷
- 水戸出身学者：藤田幽谷・藤田東湖・会沢正志斎
＝思想・行政両面における齊昭のブレーン



「新論」(国立国会図書館デジタルコレクション)





岡山藩との関係

規模も近い岡山藩と水戸藩には、どのような関係があるか。

岡山藩:32万石

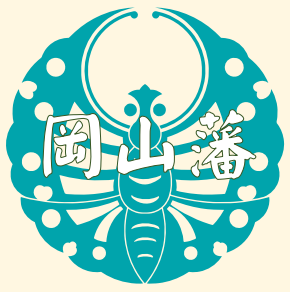
水戸藩:35万石

鳥取池田家と合せて、瀬戸内のラインを塞ぐ位置関係



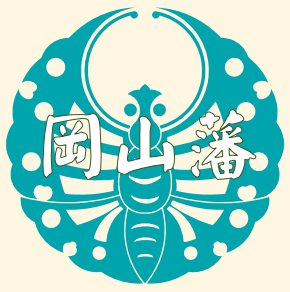
家柄	色
御三家	赤
親藩	青
譜代	黄
外様	緑

江戸時代の大名領地mapより



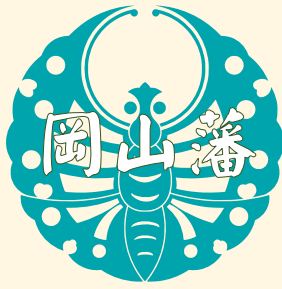
池田光政

- 岡山池田家初代
- **光**政 ⇔ **光**圀 = 徳川家**光**から共に偏諱を賜る
- 徳川家の親族としての立場
- 東照宮勸請(最初期)
- 武断主義から文治主義への転換
 - 光政: 閑谷学校
 - 光圀: 大日本史



池田茂政

- 岡山池田家9代
- 徳川齊昭9男
- 尊王攘夷の旗印として養子入り
- 鳥取池田家12代慶徳は兄(8男)



農人形

- 齊昭の教育観
 - 箱膳の隅にのせ、朝食を捧げる
 - 齊昭手製
 - 子供たちに分け与える
- 林原美術館に伝来（茂政由来か？）
- 鳥取池田家では未確認



今後の課題

- 光圀の文化的な事業と光政の関係
- 斉昭の岡山鳥取への影響(尊攘思想)
- 庭園の研究 岡山後楽園・偕楽園・小石川偕楽園・栗林公園